



第22回

# 鹿児島県原子力安全・避難計画等防災専門委員会

令和5年11月21日に第22回の専門委員会が開催されました。国や九州電力からの報告を受けて、委員から様々な意見や助言がありました。

## 川内原子力発電所の運転期間延長について

### ① 原子力規制委員会の審査結果 (説明:原子力規制庁)

主な審査内容

- 1,2号機の設計及び工事の計画について、現時点で適用されている技術基準<sup>\*1</sup>に適合していること
- 原子炉容器や原子炉格納容器、コンクリート建造物の特別点検<sup>\*2</sup>が適切に行われていること
- 延長しようとする期間において、劣化を考慮しても技術基準に適合していること など

**審査結果** 法律に基づく基準に適合していると認められることから認可することを決定

Check!

**技術基準とは?(\*1)** 発電用原子炉の維持に必要な技術上の基準

**特別点検とは?(\*2)** 取替えの難しい原子炉容器や原子炉格納容器、コンクリート建造物の劣化状況を詳しく調べる点検

委員コメント

- ・特別点検や劣化状況評価が原子力規制委員会の規則やガイドとの適合性という観点で、原子力規制委員会において厳密に審査されている。

### ② 県要請に対する原子力規制委員会の対応 (説明:原子力規制庁)

主な対応内容

原子力発電所における劣化事象の知見の拡充については、原子力安全にその一義的な責任を有する事業者においてなされるべきと考えるが、原子力規制委員会としても審査の際に、事業者の申請内容が妥当であるかということを判断するため、安全研究に取り組むとともに、必要な知見の拡充、収集、整備をしっかりと行っていく。

委員コメント

- ・原子力規制庁の説明内容は、県専門委員会で議論した意見書に応えた形になっている。

### ③ 県要請に対する九州電力の対応 (説明:九州電力)

主な対応内容

- 県要請の各項目において、これまで実施してきた設備の高経年化に対する新しい知見の積極的な取り入れや発電所の健全性の維持・確認を目的とした設備の保全活動、教育・訓練、人材育成について、今後も継続的かつ着実に実施していくとともに、運転開始40年以降の川内原子力発電所1,2号機の更なる安全性、信頼性向上の観点から、取り組みの充実等を行っていく。
- 川内原子力発電所1,2号機の運転にあたっては、県民の皆さまに安心し、信頼していただけるよう、今後とも、安全・安定運転に万全を期すとともに、積極的な情報公開と丁寧な説明に努める。

委員コメント

- ・安全性の向上については、非常に前向きな回答であると理解した。
- ・九州電力の回答は、継続的な知見の拡充とか、継続的な検討とかということで、今後も継続的に安全性の向上に引き続き、取り組んでいかれるという回答であり、どのような進捗があったか、定期的に確認をしていくべきと考える。

専門委員会の資料は鹿児島県HPからご覧ください。



第22回の専門委員会の動画はYouTube鹿児島県公式チャンネルからご覧ください。



次のページもご覧ください

## 原子力防災対策について 原子力防災センターの機能強化を図りました

- 原子力防災センター(薩摩川内市)は、原子力災害時に、国、県、市町及び防災関係機関等が一体となって各種の対策を協議・実施する施設です。  
県は、プレスルームや仮眠室、除染室の拡充・充実を図るために鉄筋コンクリート造り6階建ての別館を整備しました。
- 今年度の防災訓練においては、当別館を活用しており、今後とも防災対策の充実に努めます。

